



毎日生活すること＝進路

副校長 星野英樹

早いもので今年度も折り返す頃となりました。

毎日生活している中で児童生徒が、あるいは我が子が、昨日と今日で何が変わったかといった違いにはなかなか気付きにくいものと思います。でも4月の頃と半年経過した今を比べてみると児童生徒一人一人（我が子）は確実に成長していることに気が付くのではないのでしょうか。それは学校での学習や活動、家庭等での生活を毎日積み重ねてきた成果だと思っています。

一般的に「進路」という言葉からは中学部3年生が高等部へ進学することや高等部3年生が卒業後の行き先を決定することとイメージしがちですがその日一日を生活すること、明日も今日と同じように生活すること、それを毎日続けること、この積み重ねそのものが将来の「進路」につながっていくということを常々感じているところです。

できないことや苦手なことでも毎日の生活の中で繰り返し取り組むことで部分的にできるようになったり、苦手意識が薄らいでいったりというようなほんの少しの変化を積み重ねていく。これ自体が高等部卒業をむかえた先にある「進路」へとつながっていくものと思います。ですからこれまで同様に、何気ない毎日をしっかりと生活していきましょう。

今年度も後半となりましたが、これからも児童生徒一人一人が自分のペースで学習や生活を積み重ねていけるよう保護者皆様のご理解とご協力をいただき指導・支援に学校全体で取り組みます。引き続き保護者皆様のご協力をお願いします。

中学部 インターンシップ(就業体験)

7月9日(水)、中学部3年生の4名は星雲工房にて就業体験をしてきました。

まず、星雲工房の施設説明を聞いて、高等部卒業後の働く場所についての説明を受けました。作業体験では、かもめの玉子のお菓子箱の仕切り折りをさせていただきました。自分たちが折った仕切りが店頭になぶることを聞くと、驚きの声が上がリ、作業にも力が入りました。

インターンシップを通して、自分の得意な作業を考え、将来の働くイメージができました。



高等部 就職相談会



9月9日(火) 令和7年度気仙地区障がい者就職相談会に将来一般就労を目指す高等部1・2年生の生徒8名が参加してきました。当日は企業さんとの個別面談を通して、事業内容や特徴などを聞くことができました。企業担当者の方との面談では、高等部生活で身に付けておかなければならない事や働く上で大切な事を自分から質問する生徒もあり、将来の生活に向けて必要な事を主体的に学ぶ姿が見られました。

また、会社の事業内容等を聞くだけでなく、企業担当者さんとの会話を通して、自分の思いを伝えることの大切さを知ることができました。今回の経験を今後の学校生活や実習等に生かしていきたいと思っています。

中学部 進路見学会

今年度は大船渡市にある、就労継続支援B型事業所の慈愛福祉学園と朋友館に伺い、しいたけやきくらげの作業、部品組み立て、クリーニング、印刷などを見学しました。実際に働いている利用者の方の姿を見て、「静かに集中している」、「丁寧に作業している」という感想が生徒から出ました。

事業所の方からは、学校で身に付けてほしい働く力として、「集中力、体力、やる気、根気」と教えて頂き、普段の作業学習や後期実習につながる進路見学会となりました。

【慈愛福祉学園】

[作業内容・・・しいたけ、きくらげの加工、印刷]



【朋友館】

[作業内容・・・クリーニング、部品組み立て]



先輩から学ぶ(出前授業)

8月27日(水)に大船渡商工会議所主催の「先輩から学ぶ(出前授業)」が開催されました。今回の講師は陸前高田市竹駒町にある(株)シェリールの安倍公子さんと本校卒業生の菅野纏華さんでした。はじめに安倍工場長代理から会社の紹介や商品の説明等を解説していただきました。そして、菅野纏華さんは自己紹介で『株式会社シェリールで勤務しています・・・』と話し、私個人の感想ですが成長を実感した瞬間でした。1日6時間勤務で自分が担当している仕事内容や仕事のやりがい、学校時代の思い出を熱く語っていました。毎月のお小遣いは2万円で、お弁当はお母さんが作っているので食費もしっかり払っているそうです。在校生の皆さんは、社会人としてさらに頼もしくなった先輩に対し様々な質問をし、卒業後の進路について学びを深めていました。とっても有意義な時間を過ごせました！

PTA 進路研修会

7月24日(木)に本校体育館でPTA進路研修会を行いました。今回は、全学部合同での開催となり、22名の保護者の方々が参加しました。今回のテーマは「福祉事業所説明会」ということで気仙管内の8事業所をお招きし、将来の生活を考える上で必要な支援等や進路選択に向けて学習する機会としました。当日は暑い中でしたが、各事業所等の福祉サービスの事情や情報交換を通して、将来の生活を考える一助としました。

